

デーヴォ ガイド



2022.3.21-27

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

22:54 彼らはイエスを捕え、引いて行って、大祭司の家に連れて来た。ペテロは、遠く離れてついて行った。

22:55 彼らは中庭の真中に火をたいて、みなすわり込んだので、ペテロも中に混じって腰をおろした。

22:56 すると、女中が、火あかりの中にペテロのすわっているのを見つけ、まじまじと見て言った。「この人も、イエスといっしょにいました。」

22:57 ところが、ペテロはそれを打ち消して、「いいえ、私はあの人を知りません。」と言った。

22:58 しばらくして、ほかの男が彼を見て、「あなたも、彼らの仲間だ。」と言った。しかし、ペテロは、「いや、違います。」と言った。

22:59 それから一時間ほどたつと、また別の男が、「確かにこの人も彼といっしょだった。この人もガリラヤ人だから。」と言い張った。

22:60 しかしペテロは、「あなたの言うことは私にはわかりません。」と言った。それといっしょに、彼がまだ言い終えないうちに、鶏が鳴いた。

22:61 主が振り向いてペテロを見つめられた。ペテロは、「きょう、鶏が鳴くまでに、あなたは、三度わたしを知らないと言う。」と言われた主のおことばを思い出した。

22:62 彼は、外に出て、激しく泣いた。

結局ペテロは恐くなってイエス様を裏切っていました。それでも彼はイエス様が気になって、大祭司の家までついていった結果です。ですから主は彼を非難することはなさいませんでした。

今の時代も、主に従おうとしても中途半端に終わることがあって、結果的には自分の不信仰が表れてしまうかもしれません。しかし、それでも全く主から離れてしまうよりも良いのです。イエス様がペテロを見つめたのは愛のまなざしだったでしょう。だからこそペテロはそのようなイエス様を裏切ったことを後悔したのです。

イエス様の愛のまなざしをいつも感じましょう。たとえ信仰が不十分であったと感じても、それでも少しでも主に近づきましょう。その思いを主はわかってくれます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



22日 火曜

ルカ

22:63 さて、イエスの監視人どもは、イエスをからかい、むちでたたいた。

22:64 そして目隠しをして、「言い当ててみる。今たたいたのはだれか。」と聞いたりした。

22:65 また、そのほかさまざまな悪口をイエスに浴びせた。

22:66 夜が明けると、民の長老会、それに祭司長、律法学者たちが、集まった。彼らはイエスを議会に連れ出し、

22:67 こう言った。「あなたがキリストなら、そうだと言いなさい。」しかしイエスは言われた。「わたしが言っても、あなたがたは決して信じないでしょうし、

22:68 わたしが尋ねても、あなたがたは決して答えないでしょう。

22:69 しかし今から後、人の子は、神の大能の右の座に着きます。」

22:70 彼らはみなで言った。「ではあなたは神の子ですか。」すると、イエスは彼らに「あなたがたの言うとおりに、わたしはそれです。」と言われた。

22:71 すると彼らは「これでもまだ証人が必要でしょうか。私たち自身が彼の口から直接それを聞いたのだから。」と言った。

イエス様の苦しみは十字架を負う前から始まっていました。目隠しの状態でむちでたたかれるという屈辱を受けられたのです。議会ではイエス様を訴える口実や証拠を求めていました。これに対してイエス様は、ただ御自信が神であることのゆえに、その真理を語ったに過ぎませんでした。 「これでもまだ証人が必要でしょうか。」というほどの決定的な証拠になったのです。



つまりイエス様は神であるということではさばかれたということになります。神を信じない人はこのように、神御自身をさばくことになってしまいます。神をいつわり者とするからです。

私たちもかつてはこの議会の一員のようなであったことを思い、厳かに救いを感謝しましょう。またここまでして十字架の道を進んで行かれたイエス様の愛に感謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23日 水曜

ルカ

23:1 そこで、彼らは全員が立ち上がり、イエスをピラトのもとに連れて行った。

23:2 そしてイエスについて訴え始めた。彼らは言った。「この人はわが国民を惑わし、カイザルに税金を納めることを禁じ、自分は王キリストだと言っていることがわかりました。」

23:3 するとピラトはイエスに、「あなたは、ユダヤ人の王ですか。」と尋ねた。イエスは答えて、「そのとおりです。」と言われた。

23:4 ピラトは祭司長たちや群衆に、「この人には何の罪も見つからない。」と言った。

23:5 しかし彼らはあくまで言い張って、「この人は、ガリラヤからここまで、ユダヤ全土で教えながら、この民を扇動しているのです。」と言った。

23:6 それを聞いたピラトは、この人はガリラヤ人かと尋ねて、

23:7 ヘロデの支配下にあるとわかると、イエスをヘロデのところへ送った。ヘロデもそのころエルサレムにいたからである。

23:8 ヘロデはイエスを見ると非常に喜んだ。ずっと前からイエスのことを聞いていたので、イエスに会いたいと思っていたし、イエスの行なう何かの奇蹟を見たいと考えていたからである。

23:9 それで、いろいろと質問したが、イエスは彼に何もお答えにならなかった。

23:10 祭司長たちと律法学者たちは立って、イエスを激しく訴えていた。

23:11 ヘロデは、自分の兵士たちといっしょにイエスを侮辱したり嘲弄したりしたあげく、はでな衣を着せて、ピラトに送り返した。



23:12 この日、ヘロデとピラトは仲よくなった。それまでは互いに敵対していたのである。

ピラトは皇帝から任命されたユダヤの総督で、自分の仕事で面倒なことを被りたくないと思っていました。それを知っているユダヤ人たちは「カイザルに税金を納めることを禁じ…」と、彼が問題にしそうな部分を突いてきたのです。それでもピラトは自分の責任としたくなかったので、ヘロデのもとへイエス様を送りました。

多くの不信者がこのように自分の保身のために神を受け入れないでいます。ある意味、守るものがなくなってしまう人は、救いを受け入れやすいといえるでしょう。そのような人は幸いなのです。私たちも、自分を守るために神の真理から離れるということのないようにしましょう。

ヘロデは全くの興味本位でイエス様を見ていました。そのような人も現代にいるでしょう。イエス様は「何もお答えにならなかった。」のです。語っても無駄だからでしょう。

私たちの中にも、かつては興味本位で神を考えていた人もあるかもしれません。それでも神の忍耐によって、救われたことに感謝しましょう。そして今や、心からの主として従っている真摯な信仰のゆえに感謝しましょう。またそのように生きていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



24日 木曜

ルカ

23:13 ピラトは祭司長たちと指導者たちと民衆とを呼び集め、

23:14 こう言った。「あなたがたは、この人を、民衆を惑わす者として、私のところに連れて来たけれども、私あなたがたの前で取り調べたところ、あなたがたが訴えているような罪は別に何も見つかりません。

23:15 ヘロデとても同じです。彼は私たちにこの人を送り返しました。見なさい。この人は、死罪に当たることは、何一つしていません。

23:16 だから私は、懲らしめたうえで、釈放します。」

23:17 [本節欠如]

23:18 しかし彼らは、声をそろえて叫んだ。「この人を除け。バラバを釈放しろ。」

23:19 バラバとは、都に起こった暴動と人殺しのかどで、牢にはいらっていた者である。

23:20 ピラトは、イエスを釈放しようと思って、彼らに、もう一度呼びかけた。

23:21 しかし、彼らは叫び続けて、「十字架だ。十字架につけろ。」と言った。

23:22 しかしピラトは三度目に彼らにこう言った。「あの人がどんな悪いことをしたというのか。あの人には、死に当たる罪は、何も見つかりません。だから私は、懲らしめたうえで、釈放します。」

23:23 ところが、彼らはあくまで主張し続け、十字架につけるよう大声で要求した。そしてついにその声が勝った。

23:24 ピラトは、彼らの要求どおりにすることを宣告した。

23:25 すなわち、暴動と人殺しのかどで牢に



はいていた男を願いどおりに釈放し、イエスを彼らに引き渡して好きなようにさせた。

正義と真実によって判断されるなら、イエス様は無罪で釈放されるべきでしたが、ピラトは暴動を恐れてイエス様を死刑にさせました。暴動が起こることというのは自分の統治能力がないと査定されるからです。自分の出世のために神の子を犠牲にしたのです。

群衆は革命を起こさないイエス様に失望していました。失望は怒りに変わり、それが集団心理によって暴徒化するところまでいってしまったのです。彼らはかつてはイエス様のいやしや奇跡を求めて従っていた、または好意的に思っていた人々でした。それでも自分の勝手な救い主像や期待に合わない、反対者になってしまったのです。

私たちがまだ完全に神様の御計画が分からないときには、失望したり悪態をつきたくなる思いにとられるかもしれません。そのときはあくまでも全能にして愛の神様に祈って聞くことです。それをしないでいると、神様との関係が健全でなくなってしまう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



25日 金曜

ルカ



23:26 彼らは、イエスを引いて行く途中、いなかから出て来たシモンというクレネ人をつかまえ、この人に十字架を負わせてイエスのうしろから運ばせた。

23:27 大ぜいの民衆やイエスのことを嘆き悲しむ女たちの群れが、イエスのあとについて行った。

23:28 しかしイエスは、女たちのほうに向いて、こう言われた。「エルサレムの娘たち。わたしのことで泣いてはいけない。むしろ自分自身と、自分の子どもたちのことのために泣きなさい。

23:29 なぜなら人々が、『不妊の女、子を産んだことのない胎、飲ませたことのない乳房は、幸いだ。』と言う日が来るのですから。

23:30 そのとき、人々は山に向かって、『われわれの上に倒れかかってくれ。』と言い、丘に向かって、『われわれをおおってくれ。』と言い始めます。

23:31 彼らが生木にこのようなことをするのなら、枯れ木には、いったい、何が起こるでしょう。」

23:32 ほかにふたりの犯罪人が、イエスとともに死刑にされるために、引かれて行った。

シモンは無理やりに十字架を背負わされましたが。このようなイエス様の様子を見て、十字架を負っていることが誇りに思えたでしょう。彼は後にイエス様を信じたようです。私たちも無理やりに負わされた十字架のような責任もあるかも知れません。そのときはイエス様のために負いましょう。

イエス様は、御自分が苦しみつつ死に向かっているにもかかわらず、エルサレムの人々のことを思っていました。神はさばき主でもありますが、愛の思

いを持ったさばき主であるのです。

どんなときにも変わらない神様の愛に信頼しましょう。またその愛に応えていきましょう。神様の愛が悲しまないように、正しい歩みをしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



26日 土曜

ルカ



23:33 「どくろ」と呼ばれている所に来ると、そこで彼らは、イエスと犯罪人とを十字架につけた。犯罪人のひとは右に、ひとは左に。

23:34 そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。

23:35 民衆はそばに立ってながめていた。指導者たちもあざ笑って言った。「あれは他人を救った。もし、神のキリストで、選ばれた者なら、自分を救ってみる。」

23:36 兵士たちもイエスをあざけり、そばに寄って来て、酸いぶどう酒を差し出し、

23:37 「ユダヤ人の王なら、自分を救え。」と言った。

23:38 「これはユダヤ人の王。」と書いた札もイエスの頭上に掲げてあった。

23:39 十字架にかけられていた犯罪人のひとはイエスに悪口を言い、「あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え。」と言った。

23:40 ところが、もうひとりのほうが答えて、彼をたしなめて言った。「おまえは神をも恐れないのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。」

23:41 われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ。」

23:42 そして言った。「イエスキさま。あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください。」

23:43 イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

イエス様は十字架に釘打たれました。犯罪人と一緒ということは、ご自身が罪あるものとみなされたということです。私たちは自分の罪を負ってくださった主イエス様に感謝しましょう。自分が犯している、または犯してしまった罪のために、このように苦しまれたのだということ覚えましょう。

犯罪人の二人は全く違った結末になりました。1人はパラダイスに迎えられ、一人は永遠の滅びに行ったのです。家族も友人もみな永遠の行き先は二つに一つであることを忘れてはなりません。真剣に救いを求めましょう。伝道のために何からできるか考えましょう。また実行しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23:44 そのときすでに十二時ごろになっていたが、全地が暗くなって、三時まで続いた。
 23:45 太陽は光を失っていた。また、神殿の幕は真二つに裂けた。
 23:46 イエスは大声で叫んで、言われた。「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」こう言って、息を引き取られた。
 23:47 この出来事を見た百人隊長は、神をほめたたえ、「ほんとうに、この人は正しい方であった。」と言った。
 23:48 また、この光景を見に集まっていた群衆もみな、こういういろいろの出来事を見たので、胸をたたいて悲しみながら帰った。
 23:49 しかし、イエスの知人たちと、ガリラヤからイエスについて来ていた女たちとはみな、遠く離れて立ち、これらのことを見ていた。
 23:50 さてここに、ヨセフという、議員のひとりで、りっぱな、正しい人がいた。
 23:51 この人は議員たちの計画や行動には同意しなかった。彼は、アリマタヤというユダヤ人の町の人で、神の国を待ち望んでいた。
 23:52 この人が、ピラトのところに行って、イエスのからだの下げ渡しを願った。
 23:53 それから、イエスを取り降ろして、亜麻布で包み、そして、まだだれをも葬ったことのない、岩に掘られた墓にイエスを納めた。
 23:54 この日は準備の日で、もう安息日が始まるようとしていた。
 23:55 ガリラヤからイエスといっしょに出て来た女たちは、ヨセフについて行って、墓と、イエスのからだの納められる様子を見届けた。
 23:56 そして、戻って来て、香料と香油を用

意した。安息日には、戒めに従って、休んだが、

神殿の幕は神様の聖と人間の罪とを隔てるものでしたが、その断絶がなくなったことを意味します。もちろんイエス様の十字架によって、人の罪が赦され、神に受け入れられるものとなるからです。もはや私たちと神様とを隔てるものはないのです。大胆に恵の御座に近づきましょう。

イエス様を十字架につけた者がいた反面、イエス様の死を悲しみ悼んだ人もいました。信仰はその人の内面によるのです。私たちは世の中がイエス様を否定しても、あくまでも信仰を持ち続けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

